

# 一 般 質 問

(4面~6面)  
11月5日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

## 会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民主党)	小金井市議会民主党
(リベラル保守)	リベラル保守の会
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(改革連合)	改革連合
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(市民会議)	こがねい市民会議
(小金井自民)	小金井自由民主

## 市政の安定継続の 必要性について

中山克己(自民党小金井)

稲葉市政16年の中では様々な成果があり、高く評価している。新可燃ごみ処理施設は平成31年度中の稼働が予定され、多摩地域の自治体、一部事務組合に可燃ごみ処理のご支援も頂いており、行政運営に当たって他自治体や関係団体等との信頼関係はまさに欠かすことができず、今、重要な時期である。駅周辺のまちづくりは一体的な支援が非常に効果的で、全体的に効果を生み出すことで、今まで構築した財産を無駄にせず今後も都市基盤の更なる充実など市民の利便性の高い拠点整備を進めることが必要。行財政改革では人件費比率改善をはじめ様々な改革が進められ、持続可能な行政に向け更に引き続き推進する必要がある。これまでの取組や各行政施策を転換することは、今まで構築した財産を無意味なものにしてしまう。市政の安定継続を。



市長 安定した市政、そして信頼される市政が基本と考える。行政は継続性であり、今大きな市政の流れがある。これを大きく変えるわけにはいかない。信頼関係を引き継いでもらいたい。■その他、被災時災害対策として、訓練の成果と反映、災害対策本部設置場所、外国人の母国語対応等を質問・提案しました。



市の災害対策本部が設置される市役所本庁舎

## 稲葉市長への最後の質問 「市政を総括する」

渡辺大三(リベラル保守)

(ア)財政問題について。大久保元市長から引き継いで16年が経った。経常収支比率が大きく改善したというには遠い。「陽は昇った」と言えるのか。(イ)人件費問題について。まだ改善の余地はあると思うが、市長はどのように振り返っているのか。(ウ)後継者は、五十嵐京子さん1名

だと理解しているのか。(エ)16年間の稲葉市政を100点満点で採点すると、自身は何点の採点をするのか。

市長 (ア)「陽は昇った」のかどうかは市民の判断になる。(イ)まだまだ改善しなければならぬ。他市並みにしていくことが必要である。(ウ)後継者は指名しない。後継者を育てることもし



## 前原町4・5丁目 東八道路南のココバス運行

露口哲治(小金井自民)

ココバスは、平成15年春の「北東部循環」に始まり、平成17年からは「貫井前原循環」「東町循環」「中町循環」の3路線を運行開始し、平成20年9月には、ココバス・ミニが前原町・中町坂下地域と駅とを結んだ。この時点で、市長が当初予定していた事業としては達成されていると評価できる。しかし、坂下住民からは、貫井前原循環の通学路問題、野川・七軒家循環の乗り残し問題、ルート変更や増便などの改善要望が出ている。(ア)路線の変更、早朝運行、増便や前原4・5丁目の東八道路南側住民からの誘致要望に対しての見解は。(イ)赤字路線が多いが、利用料金変更の考えは。(ウ)車内車体、バス停を利用して広告料収入の検討をしないか。



交通対策課長 (ア)北東部ではルートの一部変更及び運行時間延長を実施し、武蔵小金井駅前



交通広場の完成に合わせて南側3路線を駅前乗り入れた。前原町4・5丁目、東八道路南側地区は、市の考える交通不便地域ではない。(イ)運賃は、ルートや時間帯の問題等、総合的に今後判断する。(ウ)バスの車体変更により、窓の上にポスターが見やすく貼れる場所ができたので、運行業者等と調整したい。

## 三多摩で最も高い 国保税の引下げを

板倉真也(日本共産党)

①(ア)なぜ、小金井市は三多摩で一番、国保税額が高いのか。(イ)2014年度と同程度の歳入・歳出であれば、1人当たり9千円程度の国保税額の引下げが可能ではないか。(ウ)来年度、国保税を引き下げるときでは。(エ)三多摩で一番高い国保税を引き下げるため、その他一般会計

繰入金を増額を行うべきでは。

保険年金課長 (ア)小金井市は26市平均より1人当たりの保険給付費は少ないが、前期高齢者交付金が少なく、国の調整交付金も少ない。(イ)見解は控えさせていただきます。平成27年度の執行状況では、調定額は前年度割れとなる状況。一方、保険給付費は前年度に比して伸びている状



況。被保険者数は減少しているも、前期高齢者数は増加していることなどが要因。(ウ)ぎりぎりまで検討を要したい。

市民部長 (エ)無尽蔵に増額できるといふことにはならない。

②2018年度から行われようとしている国保の広域化について。(ア)小金井市の国保税の見込額は示されているのか。(イ)その他一般会計繰入金は行えるという認識でよいか。

保険年金課長 (ア)現時点でも示されていない。(イ)法律としては禁止するものではない。

## 稲葉市政の財政再建と 課題への更なる挑戦

宮下 誠(公明党)

(ア)稲葉市長就任時、前市長から引き継いだ革新市政の負の遺産、高い人件費比率、ないに等しい基金残高、そしてこうした危機的財政を多摩26市平均並みへ改善させた行革の取組等について、総括的な答弁を求めます。

(イ)現在、人件費比率は多摩26市平均にようやく近づいたが、福祉会館等の老朽化した公共施設や下水道等の更新対応があり、襲い来る財政課題に対し果敢に挑戦すべきだ。目前の課題としては、職員の6人に1人が保育園に集中していることや窓口業務の民間委託が進まない実態がある。正規職員には正規職員にしかできない業務があるはずだ。

市長 (ア)市長に就任した当時、財政調整基金は70万円しかなかった。当市の財政再建は人件費からである。過去の45%を超え人件費比率から、今の16%へ改善するまで40年かかった。こ

多くの人が訪れる市役所の窓口

の間の財政は、ほとんど事業費というより人件費に費やしたことになる。ごみ問題も大変だったが、多摩各市の信頼を得て乗り切れた。(イ)今後、市民参加、市民協働が進んでいくことではないかと思う。行政の守備範囲はどこなのか、正規職員でやるべきことはどの範囲なのかを選択していくことになる。

